

水際対策の緩和に伴い、インバウンドの回復が明確化してきた。企業や自治体は、持続的な県内観光需要の拡大に向け、成田空港を擁するというアドバンテージを活かしつつ、魅力的な観光コンテンツ作りに改めて力を入れたい。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う水際対策が昨年10月に大幅緩和され、インバウンドの回復が明確化してきた。法務省が公表する「出入国管理統計」によると、1月の外国人入国者数は、全国で19年同月比▲42.0%、成田空港で同▲30.5%まで持ち直した(図表1)。

政府は、10月28日、インバウンド消費年間5兆円超の早期達成に向け、関係省庁の施策などをまとめた「インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ」を決定。1月31日からは、インバウンドにとって新規性の高い観光コンテンツの造成などを支援する、観光庁の「観光再始動事業」(図表2)の参加者公募も開始して

おり、国を挙げてインバウンド施策に改めて力を入れる姿勢を示している。

実際に、県内では、インバウンド誘致に向けた動きが広がりつつある(図表3)。鴨川シーワールドでは、外国のパスポート提示で入館料が半額になる「ウェルカムビジターキャンペーン」(1月10日～2月28日)を展開。自治体では、職員を海外へ派遣したPR活動や、外国人人気が高いアニメを観光資源として活用する動きなどがみられる。

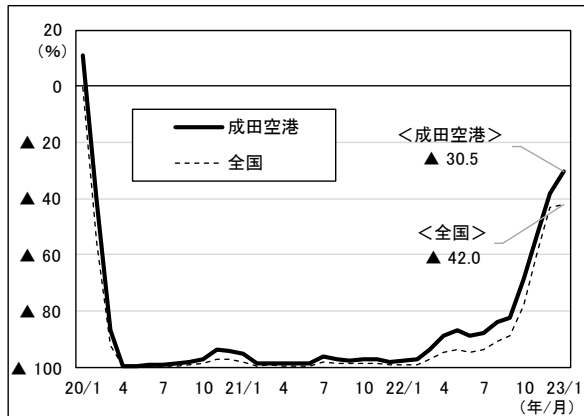
千葉県は、国内最大の国際空港である成田空港を擁し、インバウンド集客のポテンシャルは高い。昨秋以降、成田空港は、年間発着回数50万回化などの機能強化に向けて、B滑走路延伸の準備工事を始めた。

企業や自治体は、インバウンド需要が本格的な回復に向かいつつある今、成田空港などを通じて訪れた外国人がそのまま県内に滞在したくなる、魅力的な観光コンテンツ作りに改めて力を入れたい。コロナ禍で多様化が進んだ観光ニーズに対応するためにも、先述した「観光再始動事業」にもあるような、新しいコンテンツの掘り起こしと磨き上げを続けることは重要だ。

たとえば、海に面した自然豊かな温泉地としてインバウンド人気が見込める銚子・九十九里・南房総地域の温泉地を巡る周遊プランや、千葉県ならではの希少性の高い観光資源(チバニアン、加曽利貝塚など)を活かしたプランなどが挙げられる。際立った観光スポットがない場合でも、ナイト・モーニングタイムエコノミー(夜・朝ならではの消費活動や魅力の創出)などにより既存コンテンツを構成し直したり、スポーツツーリズムやフードツーリズムなどコト消費メインの観光として打ち出したりすれば、新たな観光コンテンツとなり得る。

この機に、各々に適したインバウンド需要の取り込み方について改めて検討しつつ、観光コンテンツの磨き上げを行い、持続的な県内観光需要の拡大に繋げたい。(横倉)

(図表1)外国人入国者数の推移(2019年同月比)



(出所)法務省「出入国管理統計」(注)22年12月、23年1月は速報値

(図表2)観光庁「観光再始動事業」の概要

募集期間	23年1月31日～2月27日
対象事業者	国・地方公共団体、登録DMO、民間事業者 など
対象事業	○インバウンドに資する体験コンテンツ・イベント等のうち、新規性が高く特別なものであること ○(A)規模3,000名以上の体験コンテンツ・イベント等であること、または、(B)一般的なものと比較して単価が2倍以上となる高付加価値の取組みであること ○単に観光資源の磨き上げを目的とするのではなく、本事業期間内に実際に消費に結びつく取組み(販売等)を行うこと など
金額	○「国・地方公共団体等所管事業」については、8,000万円が上限 ○「民間企業等支援事業」については、上記「対象事業」の(A)は2,750万円、(B)は2,000万円を上限に補助

(出所)観光庁ホームページ(23年2月15日閲覧時点)

(図表3)千葉県内のインバウンド誘致に関する取り組み例

企業・自治体	内容
㈱グランピスタホテル&リゾート(東京都千代田区)	1～2月、鴨川シーワールドにて、外国のパスポート提示で入館料を半額にする「ウェルカムビジターキャンペーン」を実施。
㈱いまでや(千葉市)	2月より、GINZA SIXの店舗にて、中国語と英語を用いた「日本のお酒セミナー」の開催を予定。
千葉県	12月、県職員を台湾に派遣し、現地の旅行会社にPR活動を実施。
千葉市	1～3月、千葉市が舞台のアニメ「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」シリーズとのコラボイベントを企画し、インバウンド向けにもSNSで告知。

(出所)各種資料、報道をもとに㈱ばげん総合研究所が作成